

# みたけ彩

MITAKE IRO



## 御岳山集落で見られるコケ

御岳ビジターセンター

神社を中心とした御師集落には、昔より人の手で作られた古い石垣や井戸、神域として守られた不伐の森、銅屋根のお社、ご神木のスギの巨木、コンクリートの壁など、さまざまな環境が存在している。そのため、都会で見られるコケ、水辺で見られるコケ、森の中で見られるコケなど、多様なコケが生息する。御岳山を散策しながら、コケを探してみよう。

観察ポイント

コケは、乾燥している時と湿っている時と状態がかなり違うよ！



### コスギゴケ

御岳山駅～ビジターセンター

スギの葉のような形で、よく似ているナミガタタチゴケより葉が細い。御岳山では道脇の土の斜面で見かける。



### ナミガタタチゴケ

御岳山駅～ビジターセンター・集落内

コスギゴケより葉が太く、葉の縁が波打っているのが特徴。半日陰の土の上や崩れた土の上で見られる。乾くと強く巻縮する。



### キヨスミトゴケ

御岳山駅～ビジターセンター・林内

樹枝からレースのように垂れ下がるコケ。沢沿いの湿った風が流れる場所で見かける。御岳山では杉並木のツツジの木に付いている。



### ナガバチチレゴケ

集落内 丸山荘 石垣

日当たりのよい乾いた岩上に小さく丸いコロニーを作る。丸い形がかわいい。乾くと葉がくるくると巻いてちぢれる。



### コウヤノマンネングサ

集落内 東馬場 横の土手

まるでヤシの木！日本で一番大きなコケ。山地の谷筋に生息するので、集落内で見られるのは御岳山ならでは。



### オオカサゴケ

集落内 東馬場 横の土手

ぱっと開いた傘のような葉は、2cmにもなる。乾燥すると傘を閉じる。土の上に出るコケで、富士峰園地の北斜面でも見られる。



### コバノチョウチンゴケ

集落内 東馬場 横の土手

木陰を好んで生え、乾燥すると葉が強くちぢれる。冬から春に出る新芽が薄い黄緑色をしていて目立つ。



### ウキゴケ

集落内 東馬場 裏井戸

水面に浮かぶ様子を見ることが多いけれど、地面にも生える。東馬場裏の井戸では、オタマジャクシがこのコケを食べているよ！



### ツツボゴケ

集落内 嶺雲荘 横

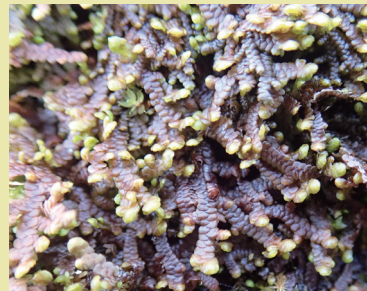
石垣やコンクリートの壁などでよく見られる。水を含んだ葉は、透明感があって美しい。光に透かしてルーペで見るのがおすすめ！



### ヒツジゴケの仲間

集落内 嶺雲荘横・隨身門上

葉にボリュームがある。羊の毛のように柔らかそうなのが名前の由来。胞子を出す蒴(さく)が艶のある茶色をしている。



### アカヤステゴケ

集落内 原島荘横

大型で赤褐色を帯びつやつやしている。赤褐色のつやつやがまるでヤスデのよう。石垣を覆うようにびっしりついている。



### ギボウシゴケの仲間

集落内 裏道 石垣

乾燥に強く、日当たりの良い場所で見られる。ギボウシとは擬宝珠という橋などの柱の上にある飾りと茶色の蒴が似ているから。





### ツヤゴケの仲間

集落内裏道 石垣

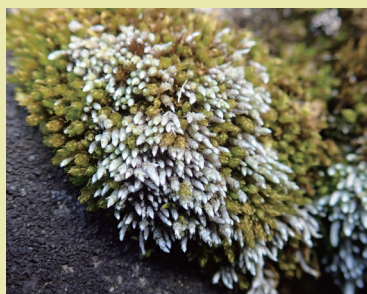
光沢のある黄緑色で、つやつやして見える。茎は這い、多くの枝を羽状に広げるのが特徴的。赤みを帯びるのはエダツヤゴケ。



### トヤマシノブゴケ

集落内裏道 石垣

3回羽状に枝分かれし、平たく伸びていくので大型になる。小さな葉が密につくのが繊細なレースのようで美しい。



### ギンゴケ

集落内裏道 石垣

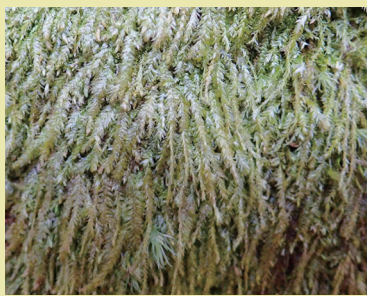
庭や畑、コンクリートの隙間にまで広く生育するシティ派。葉の上部は葉緑体がなく透明のため、銀白色にキラキラ光って見える。



### ジャゴケ

集落内裏道 石垣

表面に蛇の鱗のような模様が見られる。ルーペで見ると、鱗模様の中央に気室孔と呼ばれる穴があることが分かる。



### オオサナダゴケモドキ

集落内裏道 石垣

平らで長く伸びる様子が「真田紐」のようなのでこの名がついた。少し湿った林内で樹幹に覆うように生える。



### スナゴケの仲間

参道 階段脇

乾くと葉がチリチリにちぢまり、湿るとあつという間に星型に葉を開く。神社参道の階段脇の灯籠上に2種類あるので比べてみて！



### シシゴケ

参道 隨身門 スギ樹幹

御岳山の参道沿いにあるスギの大木に付いていることが多い。小さくて細い葉を密に付けた植物体はまるでベルベット生地のように。



### ホソバオキナゴケ

参道 隨身門 スギ樹幹

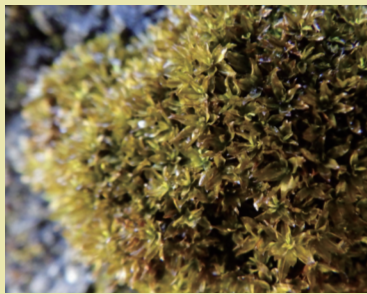
スギの木によくつく。翁の名のごとく白っぽく見える。ルーペで見ると、多肉植物のように肉厚に見える。



### コモチイトゴケ

参道 隨身門 スギ樹幹

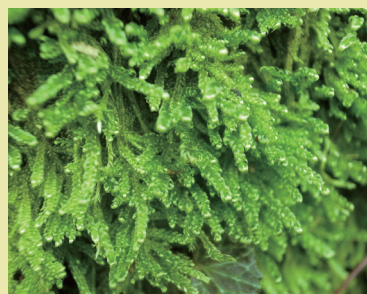
樹幹を覆うようにみっちり生え、下に垂れ下がる。滑らかな手触りで、ずっと触っていたい柔らかさである。



### ハマキゴケ

集落内 石垣

乾燥に強く、乾くと葉がくるくると内側に巻くようにちぢれて茶色の粒が並んでいるように見える。湿るとふんわり黄緑色になる。



### ハイゴケ

集落内 石垣・富士峰園地

乾くとパーマをかけたように葉がくるくる巻きになる。フカフカと厚みがあり、感触がスポンジのよう。よく見かける種類である。



### ホンモンジゴケ

武蔵御嶽神社境内

銅を好む深緑色のコケ。銅葺きの屋根の下に生育することが多く、神社の周辺でよく見られる。密に集まりみっちり塊状に生える。



### カラヤステゴケ

武蔵御嶽神社境内

樹皮や岩の上にへばり付く赤黒いコケ。這いながら広がる姿は、芸術的な模様に見える。落葉広葉樹によく見られる。



### ハネゴケの仲間

神苑の森

渓流沿いの湿った場所を好む。ルーペで見ると、丸みを帯びた葉の縁に多くの鋸歯があるのが分かる。鳥の羽根のように見え華やか。



### タマゴケ

神苑の森

早春に付ける丸い蒴の形から名付けられた。通称「タマちゃん!」。植物体が集合して、ふわふわとボリュウムがあるように見える。



### ヒノキゴケ

神苑の森

柔らかいコケで「イタチノシッポ」という別名もある。やや湿った林の土の上を好む。自然度の高い場所で見られる。